

「あいさつと歌声の聞こえる学校」に

4月に阿品台西小学校に赴任しました、校長の池田賀子(いけだよしこ)です。

阿西小は、10数年前に教諭として勤務していた学校で、久しぶりに校舎を歩くと、その頃の出来事や子どもたちとの会話を、昨日のここのように鮮明に思い出します。

本年度、本校は、「自信と誇りを持ち、笑顔かがやく阿品台西っ子の育成」を学校目標に掲げ、児童数516名、教職員数52名でスタートしました。

子どもたちの笑顔を守り、心と体の健やかな成長を願うとき、その基盤として欠かすことができないのは、学校が安心して生活できる場所であることだと思います。「おはよう」「こんにちは」「ありがとう」の言葉がいつも身近にあり、子どもたちも教職員も、子どもたちを支えてくださる地域の方々も、いっしょになって、伸び伸びと語り合い笑い合う、そんな姿が実現できたらすてきだと思うのです。

赴任してすぐの始業式で、子どもたちに「あいさつ」の話をしました。

—あいさつは、人と人をつなぐ魔法の言葉。された人はもちろん、した人まで幸せな気持ちになる不思議な力を持っています。「はっきりと」「相手の目を見て」「笑顔で」「会釈をつければ上級者」これを達成することを1学期の目標にしましょう。—

すると、どうでしょう。本当にその日のうちに、教室に入れば「あ、校長先生、おはようございます!」、廊下で出会えば、会釈をしながら「こんにちは!」、たくさんのお阿西っ子がすてきなあいさつをくれました。昔とちっとも変わらない明るさと素直さに胸が熱くなりました。

これから始まる阿品台西小での第2章がとても楽しみです。

地域の皆様、保護者の皆様とたくさん顔を合わせ、相談させていただきながら教育活動を進めていく所存です。どうぞよろしく願いいたします。

廿日市市立阿品台西小学校
校長 池田 賀子

